



ニュースリリース 平成23年 1月28日

<企画展>「雛飾り展 一桂雛—」のご案内 ～常陽史料館～

常陽銀行（頭取 鬼澤 邦夫）は、このたび、常陽史料館（館長 江橋 上）において企画展「雛飾り展 一桂雛—」を開催いたします。

城里町在住の小佐畑孝雄さんが手掛ける桂雛は、約80年の歴史を持つ雛人形。通常は分業が多い雛人形の体部を一貫して手作りで制作する技法が高く評価され、平成3年より茨城県郷土工芸品に指定されています。

桂雛は、代々制作を続けてきた旧桂村（現・城里町）からその名がつけられています。体部は胴体の芯に藁を圧縮したものを使用し、人形の衣装との調和をとる顔部分については、他の雛人形に比べてうつむいた表情が特徴といえるでしょう。

そして桂雛が纏う衣装は、平安時代に確立した色の組み合わせである「かさねの色目」が意識的に取り入れられています。衣装生地（錦）は主に西陣織が使用されていますが、結城紬によるものもあり、また生地の裏には型崩れを防ぐなどの目的で西ノ内和紙を使用するなど地元産の素材を使用することに努めています。伝統を守る一方で、屏風やぼんぼりなどの定番アイテムにはこだわらない空間づくりが行われており、それらは現代の住居にもなじむ美しさとの高い評価も得ていることから、小佐畑さんは、節句はもちろんのこと年間を通してインテリア感覚で飾ってもらえたら、と語っています。

本展では、結城紬による装束を纏った雛人形をはじめとする十数点の雛人形を展示し、指先にいたるまで細心の注意を払い制作される優雅な桂雛の魅力をその制作過程などとともに紹介いたします。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご高配を賜りたくご案内申し上げます。

- 会 期：2月1日～3月20日
- 休 館 日：毎週月曜日
- 開館時間：10：00～17：45
- 会 場：常陽史料館 アートスポット（入場無料）